



2

1_のど自慢全国優勝経験のあるローラさん
2_れんげ畑で楽しむ地元の人たち

今城でれんげ祭り

4月26日、今城区（藤村安治区長）のれんげ畑で、環境美化や地域の人たちとの交流などを目的とした祭りが開催されました。今年で9年目になる祭りには、地元住民が約30人参加しました。イベントでは、息の揃ったフラダンスやのど自慢の全国大会で優勝経験があるローラさんが魂の歌を披露するなど、参加者を魅了しました。藤村区長は「久しぶりに地域の人や子どもたちと交流した。きれいなれんげ畑でみんなと話せて楽しかった」と笑顔で話しました。

恐竜博物館開館20周年記念式典

4月30日、恐竜博物館開館20周年記念式典が行われました。開館したのは1998年、旧恐竜博物館で16年。2014年には、現在の場所に移転し、新しい恐竜博物館で4年が経ちました。式典では、参加した約100人の来館者に開館20周年オリジナルキーホルダーなどが配られ、本田恵典館長が「これからもたくさんの人たちから愛される恐竜博物館になってほしい」と話しました。現在の来館者数は、95万9,482人（5月1日現在）に到達。7月14日から9月24日まで、世界のティラノサウルス類の特別展が開催予定です。



1_くす玉割りをした山鹿市大道小の廣瀬大輝くん（小4）
2_多くの人たちが来館しました

御船町から元気を発信！

熊本地震の影響で一度は解散した益城ルネサンスが、昨年4月に御船町に事務局を構え、「熊本ルネサンス」として活躍しています。町には、5人の選手が㈱大福物流と㈱九州食糧にそれぞれ勤めており、サッカーをしながら、仕事に励む毎日です。震災後は、グラウンドを使わず、テニスコートで練習した日もたくさんありました。チーム消滅の危機に直面しましたが、山下恭典GMの尽力により、多数の支援を受け、熊本ルネサンスが“オール熊本”を掲げ、再出発しました。FWの松野梨那選手は「試合に勝って、御船町に恩返ししたい。そして、御船から元気を発信していきたい」と語りました。



左から 三浦千晶選手、米丸夏妃選手、勝山優咲選手、松野梨那選手、北条あゆみ選手

ゴルフを通じた復興支援

「熊本地震復興支援チャリティプロアマ」が株式会社ダック技建（徳永明彦代表）と北村晴男弁護士共同主催により北九州市の小倉カンツリー倶楽部で開催されました。昨年に続いて行われたこのチャリティイベントには、趣旨に賛同した九州を拠点とするプロら34人と他関係者ら102人が参加。高校生まで御船町で過ごした徳永代表は、チャリティホールやオークションなどで参加者から募った寄附金とプロの賞金の一部を町に贈呈しました。藤木町長は「継続したご支援に、ふるさとを想う徳永代表とプロ・アマのゴルファーの皆様に感謝申し上げます」と感謝の気持ちを表しました。



本格復興を目指す郷土の御船町へ再び

経験を活かして～瀬戸市と災害協定

4月20日、町恐竜博物館で愛知県瀬戸市（伊藤保徳市長）と御船町の災害時相互応援に関する協定締結式が行われました。この協定は、物資の提供や人的支援などの体制をつくり、災害対応力を強化するために行われたものです。両市町は遠距離・内陸部で同時に被災することが考えにくい点や熊本地震発生後、瀬戸市から町への職員派遣による支援活動を通して育まれた「絆」により、協定に至りました。伊藤市長は「熊本地震で大変な経験をされたと思います。その生きた経験を瀬戸市でも活かしていきたい」と語りました。



熱く手を交わした伊藤保徳市長（左）と藤木正幸町長（右）

吉無田マウンテンバイクフェスタ

4月21・22日、吉無田高原「緑の村」で日本マウンテン協会福岡県支部オフロードバイシクル九州（磯島純一実行委員長）主催によるマウンテンバイクフェスタが開催されました。吉無田の草原を周回するクロスカントリーや丘の頂上から下るタイムを競うダウンヒルなどライダーたちが躍動しました。同会場では特定非営利活動法人愛郷吉無田（渡邊秀和理事長）による吉無田マルシェが開かれ、訪れた人たちは、地元のうまかもん、よかもんを食べ、春の吉無田を満喫しました。



クロスカントリーでコースを駆け抜けるライダーたち

高木保育園にハーゲンダッツから贈呈

4月25日、ハーゲンダッツジャパン株式会社（伊倉正雄名古屋支店長）とユニー株式会社（花井彩由実CSR部部長）が連携して、社会福祉法人南苑会高木保育園（沖田昌史園長・65人）におもちゃを贈りました。これは両社が、被災地支援の一環として取り組んでおり、全国のユニーの店舗で売れたアイスクリームの収益の一部で、三輪車や室内遊具などを購入したもの。園児たちは、たくさんのおもちゃを目の前にして喜びを隠せない様子で「早くお家のおもちゃや三輪車で遊びたい」とそわそわしながら笑顔で話しました。



わくわく楽しみ！大事に使います！

みふね恐竜観光ガイド認定式

4月26日、恐竜の郷みふねプロジェクト（竹田津純会長）は、みふね恐竜観光ガイド1級および2級の認定式を開催しました。このガイドは、恐竜に関する知識や技能、御船の魅力を観光客に伝え、学びのサポートをする重要な役割をするものです。今回は、1級11人、2級8人が認定されました。1級に認定された米村泰治さん（小坂）は、「みふね恐竜観光ガイドを通して、“恐竜の郷みふね”が“恐竜の郷熊本”となるくらい、恐竜を熊本全体で盛り上げたい」と熱く話しました。



1級・2級に認定されたガイドたち